|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 学習指導案 | | | | | | | | | | |
| 岩手県立水沢工業高等学校　　３学年電気科（男33名）、  　　平成29年8月28日( 月 )　1校時(1時間)、場所：電気科実習棟　指導者名：田頭　将敬 | | | | | | | | | | |
| 1. 題材   または  単元 | 課題研究「テクノボランティア」 | | | | | | | | | |
| ２．目標 | 作業課題を確認し、その解決を図る方法の思考を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、依頼された作業内容について、作業時間内(100分)のなかで、生徒の取組可能な範囲を思考・判断し、解決する力を養う。 | | | | | | | | | |
| ３．基盤 | ①教材観  ・第2種電気工事士の内容のほか、換気扇、エアコン、扇風機、除湿器などの家庭用電気用品の構造を、実物を通して理解させる。  ②生徒観  ・疑問点は教え合い、または相談し合い解決しようという習慣が身についている。  ・ボランティアに対する「やりがい」を持って活動できている。  ・ボランティア班以外の生徒はボランティアについてよく理解できていない。  ③指導観  ・訪問先の物品を壊さないようにする。  ・各仕組みを理解し、事故・怪我の無いように、安全に配慮する。 | | | | | | | | | |
| ４．指導と評価の計画 | 小題材  ・内容 | 時間 | | | 関心・意欲・態度 | | 思考・判断・表現 | 技能 | | 知識・理解 |
| テクノボランティアのガイダンス  テクノボランティア(前半)  振り返り  (本時)  テクノボランティア(後半) | 6  20  3  40 | | | ガイダンスをしっかり聴いているか  【行動観察】  活動に積極的に取り組んでいるか  【行動観察】  説明をしっかり聴いているか  【行動観察】  積極的に、作業依頼の解決のための方法を話し合えたか。  【行動観察】  【学習プリント】  前半と同様 | | 作業に必要と思われる工具や用具、またはそれをどのように使うか考えられる。  【行動観察】  どのように動けば依頼を達成できるかを思考している  【行動観察】  【事後レポート】  作業の線引きを思考できる  作業依頼を解決するための作業手順を、思考できる。  【学習プリント】  前半と同様  振り返り内容を生かせているか  【行動観察】  【レポート】 | 作業に必要と思われる工具・用具の準備【行動観察】  手際よく活動しているか【行動観察】  前半と同様  振り返り内容を生かせているか  【行動観察】  【レポート】 | | 電気工事士法を理解しているか  【確認プリント】  そのときの活動を通して何を理解したか【事後レポート】  その事例の解決方法を理解する  【確認プリント】  前半と同様 |
| ５．本時 | | | | | | | | | | | |
| 1. 目　標   テクノボランティアの背景を理解し、高齢者の方の役に立ちたい気持ちと、自分たちが取組可能な範囲を思考する。テクノボランティア班は後半のボランティア活動につなげる。 | | | | | | | | | | | |
| 1. 展開 | | | | | | | | | | | |
| 学習内容・学習活動 | | | | 時間 | | 指導上の留意点と支援  ・評価【観点】と方法 | | | 資料、教材・教具 | | |
| ボランティアについての活動説明 | | | | 導入10分 | | 説明を真剣に聴いているか【関心・意欲・態度】 | | | プレゼン資料  活動内容の写真 | | |
| グループワーク  発表 | | | | 展開  30分 | | 実例プリントを用いて、高校生が取組可能な範囲をグループで相談し、線引きする。  また、取組可能な範囲外の作業を、解決させるためにはどのような方法があるか、思考する。  【思考・判断・表現】  各グループで話し合われた内容を発表してもらう。  【関心・意欲・態度】 | | | 実例プリント  実例プリント | | |
| まとめ | | | | 終末  10分 | | 発表内容をもとに、後半のボランティア活動の方針を立てる。  【関心・意欲・態度】【思考・判断・表現】 | | | 活動日誌 | | |
| 1. 評価   ・しっかりとコミュニケーションをとれるか。  ・効率よく作業を進めることができるか。  ・班内での連携・協力。 | | | | | | | | | | | |
| 本時の評価規準 | | | ・説明をしっかり聴いているか。　　　　　　　　 【関心・意欲・態度】  ・積極的に、作業依頼の解決のための方法を話し合えたか。  【関心・意欲・態度】  ・作業の線引きを思考できる。 【関心・意欲・態度】  ・作業依頼を解決するための作業手順を、思考できたか。  　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　　　【思考・判断・表現】 | | | | | | | | |
| 十分満足できると判断される生徒の姿 | | | ・各家庭の要望に応え、作業手順を組み立て、実行できる。  ・効率よく作業を進めることができる。 | | | | | | | | |
| 支援が必要とされる  生徒への支援方法 | | | ・作業内容を一つずつ確認する。 | | | | | | | | |
| その他：①テクノボランティアを通し、工業人として「人のために働く」ことの喜びや大変さなどを感じてもらい、「倫理観」や「責任感」を養う。  　　　　②テクノボランティアの背景には一人暮らしの高齢者に対し「何とかしてあげたい」という気持ちがある。しかし、高校生の活動範囲を超えるものを依頼されるのも事実である。そのため、取り組んで良いことと、良くないことを判断し、さらに良くないがその中でほかの改善策はないかを思考・実行しなければならない。それらを考えるきっかけとしたい。 | | | | | | | | | | | |